

MONO TSUKURI NOW



躍動する巨大市場、インドの今 —IMTEX FORMING 2026出展報告



自動化の波、バンガロールに集結。 日本技術への熱視線

【バンガロール】2026年1月21日から25日までアジア最大級の金属加工・製造技術見本市「IMTEX FORMING 2026」が、インドのシリコンバレーと称されるバンガロールのBIECで開催された。日本から出展した八洲産業（HALL 5, A134）は、厳選された4社のコンポーネントを武器に、現地の生産性向上へ向けた具体的な解決策を提示した。



インド市場を変える「高信頼・日本品質」の解決策 — 岡谷電機産業、国際電業、七星科学研究所とマシンエンジニアリング



インド政府が進める「Make in India」の加速に伴い、現地のニーズは「低コスト」から「高精度・安定稼働」へと劇的に変化している。

会場では、過酷な環境でも安定接続を維持する電磁ノイズから精密機器を守る岡谷電機産業のノイズフィルター、高い耐久性を誇る国際電業のフットスイッチ、七星科学研究所の産業用コネクタ、そして精密なワーク把持を可能にするマシンエンジニアリングの平行エアチャックを展示した。現地のエンジニアからは、日本のコンポーネントが持つ「信頼性」に対し高い期待が寄せられた。

MONO TSUKURI NOW

業界トレンド&メーカー最新ニュース



【技術革新】NORD Drivesystems、駆動技術の「IE5+」時代を先導



高効率モータとデジタルツインが変える現場の未来
製造現場のカーボンニュートラル対応が急務となる中、ドイツの駆動技術大手、NORD（ノード）社の動向が注目されている。八洲産業が強力に推進する同社の最新システムは、単なる「動力」を超えた付加価値を提供している。

特に、世界最高水準のエネルギー効率を誇る「IE5+ 同期モータ」は、電力コストが急騰する現在の産業界において、投資回収期間を大幅に短縮。また、デジタルツイン技術により、実機導入前のシミュレーションが可能に。これにより、「設計段階でのミスゼロ」と「立ち上げ時間の劇的短縮」を両立している。

【ビル自動化】スイス・SAUTER  「スマートアクチュエーター」が拓くIoTの未来

スイス・SAUTER（サウター）社が投入した新世代のIoT対応アクチュエータが、新築・改修を問わずビルオートメーションに革新をもたらしている。この「Smart Actuator」は、分散型知能により、中央の制御ステーションを介さずとも暖房・換気・空調（HVAC）の完全自律、または半自律制御を可能にした。

特筆すべきは、専用スマートフォンアプリを用いた迅速な試運転だ。クラウド上のアプリケーションライブラリから事前プログラム済みの設定を読み込むことで、複雑なソフトウェアなしで即座に稼働を開始できる。また、BACnet MS/TPに加えBluetooth LE接続も備え、ネットワーク環境のない現場でもリモートアクセスが可能だ。配線の簡素化とエラー防止を実現するプラグ式コネクタシステムにより、施工コストの削減とシステムの堅牢性を両立。既存建物のスマート化（レトロフィット）における決定打として、市場の期待が高まっている。



【編集後記】

第2号をお読みいただきありがとうございます。今号ではインド展示会の熱気、市況変動、駆動系の革新を凝縮してお伝えしました。逆風を効率化の好機に変えるべく、これからも最新技術を提案し続けます。現場の「困りごと」は、いつでも弊社担当までお寄せください。（市場調査部）



八洲産業HP
にも更新中